



① 次の問いに答えなさい。

[1点×17=17点]

- (1) 国が負担する、公債の利子(利息)の支払いや、元金の返済のための費用を何というか。➡近年はそのための費用が、国の歳出を圧迫している。
- (2) 社会保障制度のうち、児童・高齢者・身体障がい者・母子家庭などに対して、必要な施設の提供やサービスなどを行うものを何というか。
- (3) 病気や高齢などにより生活が困難になったとき、国が生活の保障を行う制度を何というか。➡社会保険、公的扶助、社会福祉、公衆衛生が柱。
- (4) 社会保障制度のうち、生活に困っている者に対して国が経済的な援助を行うものを何というか。➡生活保護がその中心である。
- (5) 間接税のうち、一般の商品の小売価格に上乗せされる税を何というか。
- (6) 1946年に制定された、労使間の紛争の解決を促進するための法律を何というか。➡労働組合法、労働基準法とともに労働三法と呼ばれる。
- (7) 要介護認定を受けると、訪問看護や特別養護老人ホームなどの介護サービスが受けられる制度を何というか。➡2000年に始まった。
- (8) 1947年に制定された、賃金や労働時間など労働条件の最低基準を定めた法律を何というか。➡週40時間、1日8時間以内。最低週1日の休日。
- (9) 労働者が団結して、企業側に労働条件に関する交渉を行うための団体を何というか。
- (10) 社会保障制度のうち、感染症の予防や公害対策など、国民の健康や安全を守るために行うものを何というか。
- (11) 税の負担は大きいですが、手厚い公共サービスや社会保障を行う政府を何というか。➡これとは反対に税の負担は少ないが、公共サービスなどは最小限しか行わない政府は「小さな政府」と呼ばれる。
- (12) 労働時間を減らし、育児休業などを充実させることによって、仕事と家庭生活を両立させようという考え方を何というか。
- (13) パートやアルバイト、契約社員、派遣社員などで働く人たちの雇用形態を何というか。➡正規雇用の正社員に比べ、低賃金かつ不安定。
- (14) 租税収入だけでは支出をまかなえない場合に、政府(国や地方公共団体)が発行する債券を何というか。➡国債と地方債がある。
- (15) 社会保障制度のうち、加入者が一定のかけ金を出し合い、病気や失業のときや退職後などに給付を受けるものを何というか。➡医療(健康)保険や年金保険、雇用保険などがあてはまる。
- (16) 税金を納める義務のある人と、実際に負担する人が異なる税を何というか。➡納め先により、国税と地方税とがある。
- (17) 現在の日本のように、子どもの数が少なく、65歳以上の高齢者の割合が高い社会を何というか。➡出生率の低下と平均寿命ののびが要因。

国債費

社会福祉

社会保障制度

公的扶助

消費税

労働関係調整法

介護保険制度

労働基準法

労働組合

公衆衛生

大きな政府

ワーク・ライフ・バランス

非正規雇用

公債

社会保険

間接税

少子高齢社会